

国立大学法人東京農工大学工学部教育規則の一部改正

国立大学法人東京農工大学工学部教育規則を次のとおり改正する。

現 行	改 正	備 考
<p>国立大学法人東京農工大学工学部教育規則 [平成16年4月制定]</p> <p>第1条 省 略</p> <p>第2条 学則第96条第2項及び第101条第2項の規程による授業科目の名称及び単位数並びに必修又は選択の別、教育課程及び履修の方法は、次の各号に掲げるとおりとする。</p> <p>一 教養科目については別表(1)</p> <p>二 専門科目のうち基礎・専門教養科目については別表(2)</p> <p>三 専門科目のうち学科専門科目(ただし、機械システム工学科及び電気電子工学科にあっては、教育分野に応じた教育課程(以下「コース」という。)ごととする。)については別表(3)及び別表(4)</p> <p>2 前項の授業科目の年次別編成は、別に定める。</p> <p>3 学則第98条第2項に定める自由選択単位については、別に定める。</p> <p>第3条～第12条 省 略</p>	<p>国立大学法人東京農工大学工学部教育規則 [平成16年4月制定]</p> <p>第1条 省 略(現行どおり)</p> <p>第2条 学則第96条第2項及び第101条第2項の規程による授業科目の名称及び単位数並びに必修又は選択の別、教育課程及び履修の方法は、次の各号に掲げるとおりとする。</p> <p>一 <u>全学共通教育科目</u>については、別表(1)及び別表(2)のうちの自然科学系基礎科目</p> <p>二 専門科目については、別表(2)のうちの専門基礎科目、別表(3)及び別表(4)</p> <p>2 前項の授業科目の年次別編成は、別に定める。</p> <p>3 学則第98条第2項に定める自由選択単位については、別に定める。</p> <p>第3条～第12条 省 略(現行どおり)</p> <p>附 則 省 略(現行どおり)</p>	

附 則

1 この附則は、平成22年4月1日から施行する。

2 平成22年3月31日現在在学している者の授業科目の名称及び単位数並びに必修又は選択の別、教育課程については、改正後の規程にかかわらず、なお従前の例による。

現 行

第2条 別表(1)

区分	授業科目	単位数	学 科 名									
			生命工学科	応用分子化学科	有機材料化学科	化学システム工学科	機械システム工学科	物理システム工学科	電気電子工学科	情報工学科		
基礎ゼミ	基礎ゼミ	2	2単位必修	2単位必修	2単位必修	2単位必修	2単位必修	2単位必修	2単位必修	2単位必修	2単位必修	
融合科目	融合科目	2	2科目 2単位必修	2科目 2単位必修	2科目 2単位必修	2科目 2単位必修	2科目 2単位必修	2科目 2単位必修	2科目 2単位必修	2科目 2単位必修	2科目 2単位必修	
	分野別科目	人文社会科学	2									
		人間と行為	2									
		歴史文化	2	各小区分から2単位以上、合計8単位以上を修得すること。								
		社会学	2									
		経済学	2									
		日本国憲法	2									
		社会学	2									
		国際関係論	2									
		総合政策論	2									
英語		リーディング・ベシックス	1	8単位以上を修得すること。	6単位以上を修得すること。							
アドヴァンスト・リーディング	1											
ライティング・ベシックス	1											
アドヴァンスト・ライティング	1											
イングリッシュ・コミュニケーション	1											
アカデミック・コミュニケーション	1											
アカデミック・リーディング	1											
資格試験英語演習	1	*										
ドイツ語初級文法	1	自由選択	同一言語の初級から2単位を修得すること。	同一言語の初級から2単位を修得すること。	同一言語の初級から2単位を修得すること。	同一言語の初級から2単位を修得すること。	同一言語の初級から2単位を修得すること。	同一言語の初級から2単位を修得すること。	同一言語の初級から2単位を修得すること。	同一言語の初級から2単位を修得すること。		
ドイツ語初級文法	1											
ドイツ語初級講義	1											
中級ドイツ語	1											
ドイツ語中級	1											
ドイツ語上級	1											
フランス語初級文法	1											
フランス語初級文法	1											
フランス語初級講義	1											
中級フランス語	1											
中国語初級文法	1											
中国語初級文法	1											
中国語初級講義	1											

改 正 案

第2条 別表(1)

区分	授業科目	単位数	学 科 名								
			生命工学科	応用分子化学科	有機材料化学科	化学システム工学科	機械システム工学科	物理システム工学科	電気電子工学科	情報工学科	
大学導入科目	工学基礎実験	2	2単位必修	2単位必修	2単位必修	2単位必修	4単位必修	4単位必修	2単位必修	2単位必修	
	基礎ゼミ	2									
	安全工学	2									
	特許法	2									
	ベンチャービジネス論	2									
	知的所有権	2	自由選択単位として卒業に必要な単位として修得することができる。								
	技術者倫理	2									
	科学技術コミュニケーション論	2									
	工学部共通特別講義(Ⅰ)	2									
	融合科目	融合科目( )	2								
共生人文社会科学A	現代倫理論	2									
	現代宗教論	2									
	多文化共生論	2									
	ジェンダー論	2									
	近現代文明論	2									
	共生社会政策論	2									
	国際平和論	2									
	現代世界構造論	2	合計6単位以上を修得すること。	合計6単位以上を修得すること。	合計6単位以上を修得すること。	合計6単位以上を修得すること。	合計8単位以上を修得すること。	合計8単位以上を修得すること。	合計6単位以上を修得すること。	合計6単位以上を修得すること。	
	人間と文化	2									
	文学・芸術学	2									
共生人文社会科学B	心理学	2									
	教育学	2									
	社会学	2									
	社会学	2									
	社会学	2									
	社会学	2									
	社会学	2									
	社会学	2									
	社会学	2									
	社会学	2									
英語	リーディング・ベシックス	1	8単位以上を修得すること。	6単位以上を修得すること。							
	ライティング・ベシックス	1									
	イングリッシュ・コミュニケーションI	1									
	アドヴァンスト・リーディング	1									
	アドヴァンスト・ライティング	1									
	イングリッシュ・コミュニケーションII	1									
	資格試験英語演習	1									
	アカデミック・リーディング	1									
	アカデミック・コミュニケーション	1									
	ドイツ語初級文法	1	自由選択	同一言語の初級から2単位を修得すること。							
ドイツ語初級文法	1										
ドイツ語初級講義	1										
中級ドイツ語	1										
ドイツ語中級	1										
ドイツ語上級	1										
フランス語初級文法	1										
フランス語初級文法	1										
フランス語初級講義	1										
中級フランス語	1										
中国語初級文法	1										
中国語初級文法	1										
中国語初級講義	1										

備 考

カリキュラム改正に伴う科目区分名、科目名および履修条件の変更

リテラシー科目  
第2外国語

全学共通教育科目  
リテラシー科目  
第2外国語



現 行				改 正 案				備 考						
第2条 別表(2)				第2条 別表(2)				カリキュラム改正による区分名、 科目名および履修条件の変更						
<b>基礎・専門教養科目</b>				<b>自然科学系基礎科目・専門基礎科目</b>										
<b>生命工学科</b>				<b>生命工学科</b>										
専 門 基 礎 科 目	区 分	授 業 科 目	単 位 数	備 考	区 分	授 業 科 目	単 位 数	備 考						
	ライフサイエンス基礎	生命物理化学	2	必修科目4単位を含め、24単位以上を修得すること。	自然科学系基礎科目	T A T 科目	数学	線形代数学	2	1				
生命物理化学		2	微分積分学 および演習				3							
生命有機化学		2	物理学				物理学基礎	2	2					
生命有機化学		2	化学				化学基礎	2	3					
生命分析科学		2	生物学				生物学基礎	2						
生命無機化学		2	数学				線形代数学	2						
機器分析学		2	微分積分学 および演習				3	1						
生命化学		2	数理統計学				2							
生命化学		2	量子力学概論				2							
分子生物学		2	物理学				熱力学	2	2					
分子生物学		2	電磁気学				2							
細胞生物学		2	地学				地学	2	4					
細胞生物学		2	地学実験				1							
ライフサイエンス基礎演習		2												
ライフサイエンス基礎演習		2												
サイエンス基礎		線形代数学	2				12単位以上を修得すること	専 門 基 礎 科 目	T A T 科目		数学・情報	微分方程式	2	1
		線形代数学	2								関数論	2		
		微分積分学 及び演習	3								バイオインフォマティクス基礎	2		
		微分積分学 及び演習	3								物理学	光・波動	2	
	微分方程式	2	生物学	基礎生物化学	2	3								
	関数論	2	基礎分子生物学	2										
	数理統計学	2	基礎生態学	1										
	バイオインフォマティクス基礎	2		基礎生物学実験	2									
	基礎物理学	2	必修科目2単位を含め、6単位以上修得すること	基 礎 科 目	ライフサイエンス基礎	生命物理化学				2	必修科目4単位を含め、24単位以上を修得すること。			
	熱力学	2				生命物理化学				2				
	電磁気学	2				生命有機化学				2				
	光・波動	2				生命有機化学				2				
	量子力学概論	2				生命分析化学				2				
	基礎化学	2				生命無機化学				2				
	基礎生物化学	2				機器分析学				2				
	基礎生物学	2				生命化学				2				
	基礎分子生物学	2				生命化学				2				
	基礎生態学	1				分子生物学				2				
	基礎生物学実験	2				分子生物学				2				
基礎生物学実験	2	細胞生物学				2								
		細胞生物学				2								
		ライフサイエンス基礎演習				2								
		ライフサイエンス基礎演習				2								

備考 (1) 印の授業科目は、必修とする。

備考 (1) 印の授業科目は、必修とする。

- 1 数学及び数学・情報から12単位以上を修得すること。
- 2 物理学から必修科目2単位を含め、6単位以上を修得すること。
- 3 必修科目10単位を含め、10単位以上を修得すること。
- 4 自由選択単位として卒業に必要な単位に算入できる。

備考(2): 削除

1-4追加

国立大学法人東京農工大学工学部教育規則の一部改正(案)

現 行				改 正 案				備 考
第2条 別表(3)				第2条 別表(3)				カリキュラム改正による区分名、科目名および履修条件の変更
学科専門科目(各学科・コース別)				学科専門科目(各学科・コース別)				
生命工学科 生体機能工学コース・応用生物工学コース				生命工学科 生体機能工学コース・応用生物工学コース				
専門科目	バイオサイエンス専門科目	生命工学の最先端	1	必修科目3単位と印から5単位以上を修得すること	バイオサイエンス専門科目	生命工学の最先端	1	必修科目3単位と印から5単位以上を修得すること。
		生命工学の最先端	1			生命工学の最先端	1	
		生命科学英語	1			生命科学英語	1	
		先端機器分析学	1			蛋白質科学	1	
		蛋白質科学	1			免疫工学	1	
		植物工学	1			植物工学	1	
		免疫工学	1			先端機器分析学	1	
		細胞再生工学	1			地球環境工学	1	
		脳神経科学	1			生理学	1	
		生理学	1			生理学	1	
		生理学	1			細胞再生工学	1	
		地球環境工学	1			脳神経科学	1	
		生命科学特別講義	2			生命科学特別講義()	1	
		生命科学特別講義()	1			生命科学特別講義()	1	
	バイオテクノロジー専門科目	生命工学の最先端	1	必修科目3単位と印から5単位以上を修得すること	バイオテクノロジー専門科目	生命工学の最先端	1	必修科目3単位と印から5単位以上を修得すること。
		生命工学の最先端	1			生命工学の最先端	1	
		生命技術英語	1			生命技術英語	1	
		メディシナルケミストリー	1			メディシナルケミストリー	1	
		バイオプロセスエンジニアリング	1			バイオプロセスエンジニアリング	1	
		食品・医薬品開発工学	1			食品・医薬品開発工学	1	
医療・組織工学		1	医療・組織工学			1		
レギュラトリーサイエンス		1	レギュラトリーサイエンス			1		
生体電子工学		1	生体電子工学			1		
マリンバイオテクノロジー		1	マリンバイオテクノロジー			1		
実験・演習	応用ゲノミクス	1		実験	応用ゲノミクス	1		
	生命技術特別講義	2			身体運動科学概論	1		
	生命工学実験	4			生命技術特別講義()	1		
	生命工学実験	4			生命技術特別講義()	1		
	生命工学実験	4			生命工学実験	4		
	生命工学実験	4			生命工学実験	4		
	生命工学特別実験	2			生命工学実験	4		
	生体機能工学演習	1			生命工学特別実験	2		
	生体機能工学演習	1			生体機能工学演習	1		
	応用生物工学演習	1						
応用生物工学演習	1							

国立大学法人東京農工大学工学部教育規則の一部改正(案)

	生体機能工学実験	4
	生体機能工学実験	4
	応用生物学実験	4
	応用生物学実験	4
卒業論文		8
開放科目	生体機能工学特論	
	生物情報工学特論	
	生体物性学特論	
	細胞分子工学特論	
	生体反応工学特論	
	生体電子工学特論	
	生物化学特論	
	生物物理化学特論	
	蛋白質化学特論	
	生物有機化学特論	
	海洋生物学特論	
ゲノム情報解析工学特論		

- 備考(1) 印の授業科目は、必修とする。  
 (2) 印の授業科目は、選択必修とする。  
 (3) の授業科目は、各コースの必修とする。  
 (4) 生命科学特別講義及び生命技術特別講義については、開始前に課題名を定め、1単位ごとにそれぞれ2単位まで修得できる。  
 (5) 開放科目の履修に際しては、指導教員と授業担当者の許可が必要です。

・演習	生体機能工学演習	1
	応用生物学演習	1
	応用生物学演習	1
	生体機能工学実験	4
	生体機能工学実験	4
	応用生物学実験	4
	応用生物学実験	4
卒業論文		8

- 備考(1) 印の授業科目は、必修とする。  
 (2) 印の授業科目は、選択必修とする。  
 (3) の授業科目は、各コースの必修とする。  
 (4) 生命科学特別講義及び生命技術特別講義については、開始前に課題名を定めそれぞれ2単位まで開講することができる。

備考(5)の削除

現 行				改 正 案				備 考										
<b>応用分子化学科</b>				<b>応用分子化学科</b>				カリキュラム改正による区分名、科目名および履修条件の変更										
区分	授業科目	単位数	備考	区分	授業科目	単位数	備考											
専 門 基 礎 科 目	数 学 ・ 情 報	線形代数学	2	12単位以上 修得するこ と。	全 学 共 通 教 育 科 目	自 然 科 学 系 基 礎 科 目	T A T 科 目	数学	線形代数学	2	1							
		微積分学 および演習	3					微積分学 および演習	3									
		物 理	微積分学 および演習				3	必修科目1単 位を含め、8 単位以上を 修得するこ と。	T A T 科 目	物理	物理学基礎演習	1	物理学基礎演習	1	2			
			微分方程式				2				化学基礎	2						
			微分方程式				2			必修科目4単 位を含め、24 単位以上を 修得するこ と。	専 門 基 礎 科 目	物理	化学基礎演習	1	化学基礎演習	1	3	
			関数論				2						数学	線形代数学	2			
			数理統計学				2					力学	2	1				
			コンピュータ基礎				2					電磁気学	2					
			化 学				物理学基礎演習					1	必修科目1単 位を含め、8 単位以上を 修得するこ と。	専 門 基 礎 科 目	物理	電磁気学	2	2
							力学					2				力学	2	
	力学			2	電磁気学	2	4											
	電磁気学			2	地学	2												
	電磁気学	2		量子力学概論	2	1												
	熱・統計力学	2		熱統計力学	2													
	化 学	化学基礎演習		1	必修科目4単 位を含め、24 単位以上を 修得するこ と。	専 門 基 礎 科 目	数学・情報	微分方程式	2	1								
		一般化学		2				微分方程式	2									
		化学数学		2				関数論	2									
		無機化学		2			必修科目1単 位を含め、8 単位以上を 修得するこ と。	専 門 基 礎 科 目	物理	コンピュータ基礎	2	2						
		無機化学	2	力学						2								
		有機化学	2	電磁気学						2								
有機化学		2	必修科目4単 位を含め、24 単位以上を 修得するこ と。	専 門 基 礎 科 目					化 学	量子化学	2	3						
有機化学		2								無機化学	2							
有機化学		2								無機化学	2							
物理化学		2								有機化学	2							
物理化学	2	有機化学			2													
物理化学	2	有機化学			2													
物理化学	2	物理化学			2													
物理化学	2	物理化学			2													
無機分析化学	2	無機分析化学			2													
生物化学	2	生物化学			2													
環境物質化学概論	2	環境物質化学概論	2															
応用分子化学基礎演習	1	必修科目1単 位を含め、8 単位以上を 修得するこ と。	専 門 基 礎 科 目	化 学	生物化学	2	3											
応用分子化学基礎演習	1				物理化学	2												
科学基礎実験	1				物理化学	2												
応用分子化学基礎演習	1	無機分析化学			2													
科学基礎実験	1	生物化学			2													
応用分子化学基礎演習	1	必修科目1単 位を含め、8 単位以上を 修得するこ と。			専 門 基 礎 科 目	化 学		環境物質化学概論	2	3								
科学基礎実験	1							応用分子化学基礎演習	1									
科学基礎実験	1							応用分子化学基礎演習	1									
科学基礎実験	1	科学基礎実験						1										

備考 (1) 印の授業科目は、必修とする。

備考(1) の科目は、必修とする。

- 1 数学及び数学・情報から12単位以上を修得すること。
- 2 必修科目1単位を含め、物理学から8単位以上を修得すること。
- 3 必修科目4単位を含め、化学から22単位以上を修得すること。
- 4 自由選択単位として卒業に必要な単位数に算入できる。

1～4:追加

国立大学法人東京農工大学工学部教育規則の一部改正(案)

現 行					改 正 案					備 考
<b>応用分子化学科</b>					<b>応用分子化学科</b>					カリキュラム改正による区分名、科目名および履修条件の変更
区分	授業科目	単位数	備考		区分	授業科目	単位数	備考		
専 門 科 目	コンピュータ化学	2	特別講義を除き、必修科目1単位を含め、23単位以上を修得すること。		専 門 科 目	コンピュータ化学	2	特別講義を除き、必修科目1単位を含め、25単位以上を修得すること。		
	高分子化学	2				高分子化学	2			
	有機反応論	2				有機反応論	2			
	生体有機化学	2				生体有機化学	2			
	反応速度論	2				反応速度論	2			
	半導体化学	2				半導体化学	2			
	応用物理化学	2				応用物理化学	2			
	遷移金属化学	2				遷移金属化学	2			
	有機機器分析	2				有機機器分析	2			
	無機機器分析	2				無機機器分析	2			
	物性化学	2				物性化学	2			
	量子化学	2				量子化学	2			
	論文・文献講読	1				論文・文献講読	1			
	先端有機工業化学	2				先端有機工業化学	2			
	エネルギー化学	2				エネルギー化学	2			
	生物化学	2				生物化学	2			
	化学工学	2				化学工学	2			
	応用分子化学特別講義	8				応用分子化学特別講義( )	2			
	先端応用化学特別講義	4				応用分子化学特別講義( )	2			
	実 験 ・ 演 習	応用分子化学演習				1	応用分子化学特別講義( )			2
先端応用化学演習		1	応用分子化学特別講義( )	2						
応用分子化学実験		3	先端応用化学特別講義( )	2						
応用分子化学実験		3	先端応用化学特別講義( )	2						
応用分子化学実験		3	先端応用化学特別講義( )	2						
応用分子化学実験		2	先端応用化学特別講義( )	2						
インターンシップ	2	応用分子化学実験	3							
卒 業 論 文	卒業論文	8	応用分子化学実験	3						
	卒業論文	8	応用分子化学実験	3						
開 放 科 目	開放科目		応用分子化学実験	2						
	開放科目		応用分子化学演習	1						
備考(1) 印の授業科目は、必修とする。					専 門 科 目	インターンシップ	2	卒業論文		
備考(2) 応用分子化学特別講義及び先端応用化学特別講義については、開始前に課題名を定め、2単位ごとに応用分子化学特別講義にあっては合計8単位、先端応用化学特別講義にあっては合計4単位まで開講する。						卒業論文	8			
備考(3) 開放科目の履修科目については、指導教員と相談の上、決定する。					備考(1) 印の授業科目は、必修とする。					
					備考(2) 応用分子化学特別講義及び先端応用化学特別講義については、開始前に課題名を定め、応用分子化学特別講義にあっては合計8単位、先端応用化学特別講義にあっては合計4単位まで開講する。					
					備考(3) 削除					

現 行				改 正 案				備 考	
<b>有機材料化学科</b>				<b>有機材料化学科</b>				カリキュラム改正による区分名、科目名および履修条件の変更	
区分	授業科目	単位数	備考	区分	授業科目	単位数	備考		
基礎 ・ 専 門 教 養 科 目	線形代数学	2	基礎・専門教養科目と専門科目を合わせ、必修科目41単位を含め、88単位以上を修得すること。	全学共通教育科目	T A T 科目	数学	線形代数学	2	1
	線形代数学	2				微分積分学 および演習	3		
	微分積分学 および演習	3				物理学	物理学基礎	2	
	微分積分学 および演習	3			T A T 科目	生物学	生物学	2	
	微分方程式	2				数学	線形代数学	2	
	微分方程式	2				微分積分学 および演習	3		
	プログラミング基礎	2			地学	地学	2		
	物理学基礎および演習	2				地学実験	1		
	力学	2			数学・情報	微分方程式	2		
	振動・波動の物理	2				微分方程式	2		
	電磁気学	2				プログラミング基礎	2		
	光学基礎	2			物理学	力学概論	2		
	熱力学	2		振動・波動の物理		2			
	熱力学	2		材料電磁気学		2			
	反応速度論	2		生物学	光学基礎	2			
	量子化学	2			生物機能化学	2			
	量子化学	2			熱力学	2			
	物理化学演習	1		専 門 基 礎 科 目	熱力学	2			
	物理化学演習	1			反応速度論	2			
	化学結合論	2			量子化学	2			
	有機化学	2			量子化学	2			
	有機化学	2			物理化学演習	1			
	有機化学	2			物理化学演習	1			
	有機化学	2			化学結合論	2			
	有機化学演習	1			有機化学	2			
	有機化学演習	1			有機化学	2			
	無機化学	2			有機化学	2			
	無機化学	2			有機化学	2			
	無機化学	2			有機化学演習	1			
	分析化学	2			有機化学演習	1			
生物化学	2	無機化学	2						
科学基礎実験	1	無機化学	2						
		無機化学	2						
		分析化学	2						
		科学基礎実験	1						

備考 (1) 印の授業科目は、必修とする。

備考 (1) の授業科目は、必修とする。

1 専門科目と合わせて、必修科目41単位を含め、88単位以上を修得すること(ただし、生物科学・地学・地学実験を除く)。なお、生物科学・地学・地学実験は、自由選択単位として卒業に必要な単位に算入できる。

1:追加

国立大学法人東京農工大学工学部教育規則の一部改正(案)

現 行				改 正 案				備 考
<b>有機材料化学科</b>				<b>有機材料化学科</b>				カリキュラム改正による区分名、科目名および履修条件の変更
区分	授 業 科 目	単 位 数	備 考	区 分	授 業 科 目	単 位 数	備 考	
専 門 科 目	ベクトル解析	2	基礎・専門教 養科目と専門 科目を合わ せ、必修科目 41単位を含 め、88単位以 上を修得する こと。	専 門 科 目	有 機 材 料 化 学 専 門 科 目	ベクトル解析	2	1
	応用解析	2				ベクトル解析	2	
	構造化学	2				応用解析	2	
	統計力学	2				構造化学	2	
	物性化学	2				統計力学	2	
	電気化学	2				物性化学	2	
	機器分析	2				電気化学	2	
	高分子化学	2				機器分析	2	
	高分子化学	2				高分子化学	2	
	高分子・繊維物理	2				高分子化学	2	
	高分子・繊維物理	2				高分子・繊維物理	2	
	バイオ材料化学	2				高分子・繊維物理	2	
	有機工業化学	2				有機化学	2	
	化学工学基礎	2				生体材料化学	2	
	有機材料化学演習	1				有機工業化学	2	
	有機材料化学演習	1				化学工学概論	2	
	応用材料科学	2				有機材料化学演習	1	
	有機材料化学特別講義	4				有機材料化学演習	1	
	有機材料化学実験	4				応用材料科学	2	
	有機材料化学実験	4				有機材料化学特別講義 ( )	2	
有機材料化学実験	4	有機材料化学特別講義 ( )	2					
有機材料化学実験	4	有機材料化学特別講義 ( )	1					
卒業論文	8	有機材料化学特別講義 ( )	1					
開 放 科 目	有機材料設計特論	2		卒 業 論 文	有機材料化学特別講義 ( )	1		
	有機材料合成特論	2			有機材料化学実験	4		
	有機材料構造特論	2			有機材料化学実験	4		
	有機材料物性特論	2			有機材料化学実験	4		
	有機材料解析特論	2			有機材料化学実験	4		
	有機材料開発特論	2			有機材料化学実験	4		
備考 (1) 印の授業科目は、必修とする。				備考 (1) 印の授業科目は、必修とする。				
(2) 有機材料化学特別講義については、開始前に課題名を定め、1単位または2単位ごとに合計4単位まで開講することがある。				(2) 有機材料化学特別講義については、開始前に課題名を定め、合計4単位まで開講することがある。				
(3) 開放科目の履修に際しては、指導教員と相談すること。				1. 自然科学系基礎科目(ただし、生物科学・地学・地学実験を除く)・専門基礎科目と合わせて、必修科目41単位を含め、88単位以上を修得すること。				
				備考(3):削除 1:追加				

現 行				改 正 案				備 考	
<b>化学システム工学科</b>				<b>化学システム工学科</b>				カリキュラム改正による区分名、科目名および履修条件の変更	
区分	授業科目	単位数	備考	区分	授業科目	単位数	備考		
専門基礎科目	数 学	線形代数学	2	印の科目から8単位以上を含め、10単位以上を修得すること。	T A T 科目	数学	線形代数学	2	1
		線形代数学	2			微分積分学 および演習	3		
		微分積分学 および演習	3			物理学	物理学基礎演習	1	
		微分積分学 および演習	3			化学	化学基礎演習	1	
		微分方程式	2			生物学	生物学基礎	2	
		微分方程式	2						
	物 理	物理学演習	1	必修科目5単位および、印の科目から14単位以上を含め、35単位以上を修得すること。	T A T 科目	数学	線形代数学	2	1
		力学	2			微分積分学 および演習	3		
		電磁気学	2			物理学	量子力学概論	2	
		量子力学基礎	2				熱力学	2	
		統計熱力学	2				熱統計力学	2	
	化 学	化学演習	1	必修科目5単位および、印の科目から14単位以上を含め、35単位以上を修得すること。		生物学	力学	2	
		無機化学基礎	2		電磁気学		2		
		有機化学基礎	2		力学		2		
		有機化学	2		地学	生物化学	2	3	
		有機化学	2			地学	2		
		有機化学	2		地学実験	1			
		熱力学基礎	2		専 門 基 礎 科 目	数学	微分方程式	2	1
		平衡論	2			微分方程式	2		
		分析化学	2		化学	化学	無機化学基礎	2	2
		機器分析化学	2				有機化学基礎	2	
	化学工学基礎	生物学基礎	2	必修科目5単位および、印の科目から14単位以上を含め、35単位以上を修得すること。	化学システム工学基礎	有機化学	2	2	
		生物化学	2			有機化学	2		
		化学工学序論	1			平衡論	2		
		化学工学基礎	2			分析化学	2		
		化学プロセス数学	2			機器分析化学	2		
		情報科学基礎	2			化学工学序論	1		
材料科学		2	化学工学基礎			2			
システム工学概論		2	化学プロセス数学			2			
技術者倫理		2	情報科学基礎			2			
科学技術英語		2	材料科学			2			
化学工学基礎演習		1	システム工学概論			2			
化学工学基礎演習	1	科学技術者倫理	2						
科学基礎実験	1	科学技術英語	2						
				化学工学基礎演習	1				
				化学工学基礎演習	1				
				化学工学基礎ゼミおよび実験	1				

備考 (1) 印の授業科目は、必修とする。  
 (2) 印の授業科目は、選択必修とする。

備考(1) の科目は、必修とする。  
 (2) の科目は、選択必修とする。  
 1 数学 印の科目から8単位以上を含め、10単位以上を修得すること。  
 2 必修科目5単位及び 印の科目から14単位以上を含め、35単位以上修得すること。  
 3 自由選択単位として卒業に必要な単位に算入できる。

1~3:追加

国立大学法人東京農工大学工学部教育規則の一部改正(案)

現 行				改 正 案				備 考
<b>化学システム工学科</b>				<b>化学システム工学科</b>				カリキュラム改正による区分名、科目名および履修条件の変更
専 門 科 目	専 門 科 目	拡散分離工学および演習	3	専 門 科 目	拡散分離工学および演習	3	特別講義を除き、必修科目1単位および印の科目から11単位以上を含め21単位以上を修得すること。	
		粉粒体プロセス工学	2		粉粒体プロセス工学	2		
		反応工学および演習	3		反応工学および演習	3		
		プロセスシステム工学	2		プロセスシステム工学	2		
		プロセスデザイン工学	2		プロセスデザイン工学	2		
		移動現象論および演習	3		移動現象論および演習	3		
		化学工学熱力学および演習	3		化学工学熱力学および演習	3		
		論文・文献講読	1		論文・文献講読	1		
		環境工学	2		環境工学	2		
		反応速度論	2		反応速度論	2		
		バイオプロセス工学	2		バイオプロセス工学	2		
		共生科学技術論	1		共生科学技術論	1		
		エンジニアリング製図	1		エンジニアリング製図	1		
		化学システム工学特別講義	8		化学システム工学特別講義( )	2		
	化学工学特別講義	4	化学システム工学特別講義( )	2				
	実 験 ・ 演 習	化学システム工学演習	1	化学システム工学特別講義( )	2			
		エンジニアリングプレゼンテーション	1	化学システム工学特別講義( )	2			
		モデリング演習	1	化学工学特別講義( )	2			
		化学システム工学実験	3	化学工学特別講義( )	2			
		化学システム工学実験	3	化学工学特別講義( )	2			
		化学システム工学実験	3	化学システム工学演習	1			
	開 放 科 目	インターンシップ	2	エンジニアリングプレゼンテーション	1			
		卒業論文	8	モデリング演習	1			
分子化学工学特論I		2	化学システム工学実験	3				
分離工学特論I		2	化学システム工学実験	3				
機能性触媒工学特論I		2	化学システム工学実験	3				
化学プロセス工学特論I		2	化学システム工学実験	3				
化学エネルギー工学特論I		2	インターンシップ	2				
環境化学工学特論I	2	卒業論文	8					
備考(1) 印の授業科目は、必修とする。				備考(1) 印の授業科目は、必修とする。				備考(5): 削除
備考(2) 印の授業科目は、選択必修とする。				備考(2) 印の授業科目は、選択必修とする。				
備考(3) 化学システム工学特別講義及び化学工学特別講義については、開始前に課題名を定め、1単位または2単位ごとに化学システム特別講義にあっては合計8単位、化学工学特別講義にあっては合計4単位まで開講する。				備考(3) 化学システム工学特別講義及び化学工学特別講義については、開始前に課題名を定め、化学システム特別講義にあっては合計8単位、化学工学特別講義にあっては合計4単位まで開講する。				
備考(4) 論文・文献講読はクラス指定制なので、指定された学期に履修する。				備考(4) 論文・文献講読はクラス指定制なので、指定された学期に履修する。				
備考(5) 開放科目の履修に際しては、指導教員と相談すること。								



現 行				改 正 案				備 考		
<b>機械システム工学科</b>				<b>機械システム工学科</b>				カリキュラム改正による区分名、科目名および履修条件の変更		
<b>航空宇宙エネルギーコース</b>				<b>航空宇宙エネルギーコース</b>						
専 門 科 目	専 門 科 目	区 分	授 業 科 目	単位数	備 考	専 門 科 目	区 分	授 業 科 目	単位数	備 考
		熱工学	2	特別講義を除き、22単位以上を修得すること。	熱工学		2	特別講義を除き、22単位以上を修得すること。		
		材料力学	2		材料力学		2			
		機械材料工学	2		機械材料工学		2			
		伝熱学	2		伝熱学		2			
		弾性力学	2		弾性力学		2			
		流体力学	2		流体力学		2			
		高比強度材料学	2		トライボロジー		2			
		トライボロジー	2		エネルギー変換工学		2			
		エネルギー変換工学	2		エネルギーシステム工学		2			
		エネルギーシステム工学	2		塑性力学		2			
		塑性力学	2		航空宇宙流体力学		2			
		航空流体工学	2		構造材料評価法		2			
		構造材料評価法	2		有限要素法および演習		3			
		構造用セラミックス	2		ガスタービン		2			
		ガスタービン	2		自動車環境工学		2			
		宇宙構造工学	2		宇宙制御工学		2			
	宇宙制御工学	2		宇宙推進工学	2					
	宇宙推進工学	2		機械システム特別講義( )	2					
	機械システム特別講義( )	2		機械システム特別講義( )	2					
	機械システム特別講義( )	2		機械システム特別講義( )	2					
	機械システム特別講義( )	2		機械システム特別講義( )	2					
	機械システム特別講義( )	2		機械システム特別講義( )	2					
	機械システム特別講義( )	2		機械システム特別講義( )	2					
	演 習 ・ 実 験	機械製図法	1	必修科目2単位を含め、5単位以上を修得すること。	機械製図法	1	演 習 ・ 実 験	機械製図法	1	
		CAD演習	1		CAD演習	1				
		機械システム設計製	1		機械システム設計製	1				
		コンピュータプログラミング基礎	1		コンピュータプログラミング	1				
コンピュータプログラミング基礎		1		コンピュータプログラミング	1					
コンピュータプログラミング応用		1		材力・機力演習	1					
コンピュータプログラミング応用		1		熱流体演習	1					
コンピュータプログラミング応用		1		熱流体演習	1					
コンピュータプログラミング応用		1		機械システム工学実験	2					
材力・機力演習		1		機械システム工学実験	2					
熱流体演習		1		機械システム工学実験	2					
開 放 科 目	機械システム工学実験	2		機械システム工学実験	2	開 放 科 目	インターンシップ	2		
	機械システム工学実験	2		機械システム特別研究	1					
	機械システム工学実験	2		機械システム特別研究	2					
	インターンシップ	2		卒業論文	8					
	卒業論文	8								
開放科目										
備考(1) 印の授業科目は、必修とする。				備考(1) 印の授業科目は、必修とする。				備考(3) 削除		
(2) 機械システム特別講義( )については、開始前に(課題名)を定め、2単位ごとに合計10単位まで修得できる。				(2) 機械システム特別講義( )については、開始前に(課題名)を定め、5科目まで開講することがある。						
(3) 開放科目の履修科目については、指導教員と相談の上、決定する。										

現 行				改 正 案				備 考
<b>機械システム工学科</b> <b>車両制御ロボットコース</b>				<b>機械システム工学科</b> <b>車両制御ロボットコース</b>				カリキュラム改正による区分名、科目名および履修条件の変更
区 分	授 業 科 目	単 位 数	備 考	区 分	授 業 科 目	単 位 数	備 考	
専 門 科 目	機械力学	2	特別講義を除き、22単位以上を修得すること。	機械力学	2	特別講義を除き、22単位以上を修得すること。	カリキュラム改正による区分名、科目名および履修条件の変更	
	機械要素設計	2		機械電子工学	2			
	機械電子工学	2		機械設計	2			
	機械情報電子工学	2		機械加工学	2			
	機械加工学	2		制御工学	2			
	制御工学	2		メカトロニクス	2			
	オプトメカトロニクス	2		ロボット工学	2			
	ロボット工学	2		光工学	2			
	知識工学	2		MEMS	2			
	管理工学	2		管理工学	2			
	数理統計学	2	車両工学	2				
	計測・信号処理工学	2	計測・信号処理工学	2				
	量子マイクロエレクトロニクス	2	人体運動学	2				
	車両工学	2	振動制御および演習	3				
	宇宙制御工学	2	宇宙制御工学	2				
	生産システム工学	2	生産システム工学	2				
	シミュレーション工学	2	自動車環境工学	2				
	機械システム特別講義( )	2	機械システム特別講義( )	2				
	機械システム特別講義( )	2	機械システム特別講義( )	2				
	機械システム特別講義( )	2	機械システム特別講義( )	2				
	機械システム特別講義( )	2	機械システム特別講義( )	2				
	機械システム特別講義( )	2	機械システム特別講義( )	2				
	機械システム特別講義( )	2	機械システム特別講義( )	2				
	機械製図法	1	必修科目2単位を含め、5単位以上を修得すること。	機械製図法	1			
	CAD演習	1		CAD演習	1			
	機械システム設計製図	1	必修科目2単位を含め、5単位以上を修得すること。	機械システム設計製図	1			
	コンピュータプログラミング基礎	1		コンピュータプログラミング	1			
コンピュータプログラミング基礎	1	必修科目2単位を含め、5単位以上を修得すること。	コンピュータプログラミング	1				
コンピュータプログラミング応用	1		コンピュータプログラミング	1				
コンピュータプログラミング応用	1	必修科目2単位を含め、5単位以上を修得すること。	材力・機力演習	1				
コンピュータプログラミング応用	1		熱流体演習	1				
材力・機力演習	1	必修科目2単位を含め、5単位以上を修得すること。	機械システム工学実験	2				
熱流体演習	1		機械システム工学実験	2				
機械システム工学実験	2	必修科目2単位を含め、5単位以上を修得すること。	機械システム工学実験	2				
機械システム工学実験	2		機械システム工学実験	2				
機械システム工学実験	2	必修科目2単位を含め、5単位以上を修得すること。	インターンシップ	2				
インターンシップ	2		インターンシップ	2				
機械システム特別研究I	1	必修科目2単位を含め、5単位以上を修得すること。	機械システム特別研究	1				
機械システム特別研究II	2		機械システム特別研究	2				
卒業論文	8	必修科目2単位を含め、5単位以上を修得すること。	卒業論文	8				
開放科目			卒業論文	8				

備考 (1) 印の授業科目は、必修とする。  
 (2) 機械システム特別講義( )については、開始前に(課題名)を定め、2単位ごとに合計10単位まで修得できる。  
 (3) 開放科目の履修科目については、指導教員と相談の上、決定する。

備考 (1) 印の授業科目は、必修とする。  
 (2) 機械システム特別講義( )については、開始前に(課題名)を定め、5科目まで開講することがある。

備考(3) 削除

現 行				改 正 案				備 考			
<b>物理システム工学科</b>				<b>物理システム工学科</b>				カリキュラム改正による区分名、科目名および履修条件の変更			
基 礎 ・ 専 門 教 養 科 目	区 分	授 業 科 目	単 位 数	備 考	区 分	授 業 科 目	単 位 数		備 考		
	基 礎 ・ 専 門 教 養 科 目	数 学	線形代数学	2	必修科目10 単位を含め、 14単位以上 を修得するこ と。	T A T 科 目	数学	線形代数学	2	1	
線形代数学			2	微分積分学 および演習			3				
微分積分学 および演習			3	化学			化学基礎	2	2		
微分積分学 および演習			3				生物学	生物学基礎		2	
微分方程式			2	T A T 科 目			数学	線形代数学	2	1	
関数論			2				微分積分学 および演習	3			
幾何学			2				化学	物理化学	2	2	
代数学			2				地学	地学	2		
基 礎 ・ 専 門 教 養 科 目		基 礎 ・ 専 門 教 養 科 目	力学入門	2		必修科目8単 位を含め、14 単位以上を 修得するこ と。	専 門 基 礎 科 目	数 学	微分方程式	2	1
			力学I	2					関数論	2	
			力学演習	1					幾何学	2	
			電磁気学入門	2					代数学	2	
			物理システム工学基礎実験I	1				物理 シ ス テ ム 工 学 基 礎	力学入門	2	必修科目8 単位を含 め、10単位 以上を修得 すること。
			物理システム工学基礎実験II	1					電磁気学入門	2	
	化学		2	物理システム工学基礎実験	1						
	現代化学		2	力学	2						
	物質科学入門		2	力学演習	1						
	現代生物学		2	物質科学入門	2						
環境科学	2	環境科学	2								
エネルギー科学	2	エネルギー科学	2								

備考 (1) 印の授業科目は、必修とする。

備考(1) の授業科目は、必修とする。

(2) の授業科目は、選択必修とする。

- 1 必修科目10単位を含め、数学から14単位以上を修得すること。
- 2 化学および生物学から4単位以上を修得すること。
- 3 自由選択単位として卒業に必要な単位に算入できる。

備考(2):追加  
1~3 追加

現 行				改 正 案				備 考
<b>物理システム工学科</b>				<b>物理システム工学科</b>				
専 門 科 目	区 分	授 業 科 目	単 位 数	備 考	区 分	授 業 科 目	単 位 数	備 考
	専 門 科 目	物理数学	2	必修科目26単 位をすべて修 得すること。	専 門 科 目	物理数学	2	必修科目26 単位をすべ て修得する こと。
		物理数学演習	1			物理数学演習	1	
		物理数学	2			物理数学	2	
		力学	2			力学	2	
		電磁気学	2			電磁気学	2	
		電磁気学演習	1			電磁気学演習	1	
		電磁気学	2			電磁気学	2	
		振動・波動	2			振動・波動	2	
		熱物理学入門	2			熱物理学入門	2	
		熱統計力学	2			熱統計力学	2	
		熱統計力学演習	1			熱統計力学演習	1	
		量子力学入門	2			量子力学入門	2	
		量子力学	2			量子力学	2	
	量子力学演習	1	量子力学演習	1				
	量子力学	2	量子力学	2				
	専 門 科 目	コンピュータ基礎実験	1	必修科目13単 位を含め、16 単位以上を修 得すること。	専 門 科 目	コンピュータ基礎実験	1	必修科目13 単位を含 め、16単 位以上を修 得する こと。
		コンピュータ解析および演習	3			コンピュータ解析および演習	3	
		物理実験学	2			物理実験学	2	
		電気回路	2			電気回路	2	
		電子回路	2			電子回路	2	
		計測・制御回路	2			計測・制御回路	2	
		物理プレゼンテーション	1			物理プレゼンテーション	1	
		物理プレゼンテーション	1			物理プレゼンテーション	1	
		物理システム工学実験	2			物理システム工学実験	2	
	物理システム工学実験	2	物理システム工学実験	2				
	物理システム工学実験	2	物理システム工学実験	2				
	専 門 科 目	波動物理	2	印の科目か ら8単位以 上、印の科 目の中から2 単位以上を含 め、18単位 以上を修得す ること。	専 門 科 目	波動物理	2	印の科目 から8単位以 上、印の 科目の中か ら2単位以 上を含め、18 単位以上を 修得する こと。
		フォトニクス	2			フォトニクス	2	
		量子エレクトロニクス	2			量子エレクトロニクス	2	
		化学物理	2			化学物理	2	
		固体物理	2			連続体物理	2	
		固体物理	2			固体物理	2	
量子力学特論		2	固体物理			2		
原子分子物理		2	量子力学特論			2		
連続体物理		2	原子分子物理			2		
特別ゼミ		2	特別ゼミ			2		
物理システム工学特別講義		2	物理システム工学特別講義			2		
物理システム工学特別講義	2	物理システム工学特別講義	2					
卒業論文	8	自由課題実験	2					
自由課題実験	2	自由課題実験	2					
自由課題実験	2	自由課題実験	2					
自由課題実験	2	自由課題実験	2					
自由課題実験	2	卒業論文	8					

国立大学法人東京農工大学工学部教育規則の一部改正(案)

開放科目	応用力学	2	
	応用電磁気学	2	
	応用熱統計力学	2	
	応用量子力学	2	
	応用物理数学	2	
備考(1) 印の授業科目は、必修とする。			備考(1) 印の授業科目は、必修とする。 備考(2) 印および 印の授業科目は、選択必修とする。
備考(2) 印および 印の授業科目は、選択必修とする。			



現 行				改 正 案				備 考
電気電子工学科 電気電子システム工学コース				電気電子工学科 システムエレクトロニクスコース				コース名の変更  カリキュラム改正による区分名、 科目名および履修条件の変更
区分	授 業 科 目	単位数	備 考	区 分	授 業 科 目	単位数	備 考	
専 門 科 目	電気数学 および演習	3	必修科目 50単位と 印から10単 位以上を 含め、全体 で65単位 以上を修 得するこ と。	専 門 科 目	微分方程式	2	必修科目 15単位と 印から6 単位以上 含め、全 体で34単 位以上習 得するこ と。	
	電気数学 および演習	3			関数論	2		
	電磁気学 および演習	3			回路網理論	2		
	電磁気学 および演習	3			デジタル電子回路	2		
	電子物性工学	2			計測工学	2		
	電子物性工学	2			制御工学	2		
	電子デバイス および演習	3			マイクロプロセッサ	2		
	電子デバイス	2			電気電子機器	2		
	論理回路および演習	3			光工学	2		
	回路理論 および演習	3			光エレクトロニクス	2		
	回路理論 および演習	3			電子物性工学	2		
	電子回路 および演習	3			電子デバイス	2		
	電子回路 および演習	3			パワーエレクトロニクス	2		
	計測工学	2			エネルギーネットワーク工学	2		
	通信工学	2			高電圧工学	2		
	光工学	2			電力工学	2		
	光エレクトロニクス	2			信号処理	2		
	不規則信号論	2			画像情報工学	2		
	画像情報工学	2			システムLSI工学	2		
	プログラミング および演習	3			通信工学	2		
	マイクロプロセッサ	2			通信システム工学	2		
	プログラミング	2			電磁波工学	2		
	制御工学	2			高周波伝送工学	2		
	信号処理	2			オブジェクト指向プログラミング	2		
	電磁波工学	2			計算工学基礎	2		
	通信システム工学	2			電気法規および施設管理	2		
	高周波伝送工学	2			論文・文献講読	1		
	システムLSI工学	2			電気電子工学特別講義( )	2		
	電気電子機器	2			電気電子工学特別講義( )	2		
	高電圧工学	2			電気電子工学特別講義( )	2		
	電力工学	2			電気電子工学特別講義( )	2		
	パワーエレクトロニクス	2			電気電子工学特別講義( )	2		
	エネルギーネットワーク工学	2			電気電子工学特別講義( )	2		
	電気法規および施設管理	2			電気電子工学特別講義( )	2		
電気電子製図	1	電気電子製図	1					
電子情報工学製図	1	電子情報工学製図	1					
電気電子システム特別講義( )	2	電気電子工学実験I	2					
電気電子システム特別講義( )	2	電気電子工学実験IIA	2					
電気電子システム特別講義( )	2	電気電子工学実験IIIA	2					
電気電子システム特別講義( )	2	卒業論文	8					
論文・文献講読	1							

備考(1) 印の授業科目は、必修とする。  
 (2) 印の授業科目は、選択必修とする。

国立大学法人東京農工大学工学部教育規則の一部改正(案)

	電気電子工学実験	2	
	電気電子システム工学実験	2	
	電気電子システム工学実験	2	
	卒業論文	8	
専 門 科 目	開放科目		
	電磁波応用工学特論1	2	履修に際し ては、指導 教員と相談 すること。
	半導体薄膜工学特論	2	
	光エレクトロニクス特論	2	
	パワーエレクトロニクス特論	2	
	通信工学特論1	2	
	画像認識工学特論	2	
	光電子機能デバイス工学特	2	
	集積回路設計特論	2	
	パターン情報処理特論	2	
情報入出力システム工学特	2		
備考	(1) 印の授業科目は、必修とする。 (2) 印の授業科目は、選択必修とする。		

現 行				改 正 案				備 考
<b>電気電子工学科</b>				<b>電気電子工学科</b>				コース名の変更
<b>電子メディア工学コース</b>				<b>電子情報通信工学コース</b>				
区分	授 業 科 目	単位数	備 考	区分	授 業 科 目	単位数	備 考	カリキュラム改正による区分名、 科目名および履修条件の変更
専 門 科 目	電気数学 および演習	3	必修科目50 単位と 印か ら10単位以 上を含め、全 体で65単位 以上を修得 すること。	専 門 科 目	微分方程式	2	必修科目15 単位と 印 から6単位以 上を含め、全 体で34単位 以上習得す ること。	
	電気数学 および演習	3			関数論	2		
	電磁気学 および演習	3			回路網理論	2		
	電磁気学 および演習	3			デジタル電子回路	2		
	電子物性工学	2			計測工学	2		
	電子物性工学	2			制御工学	2		
	電子デバイス および演習	3			マイクロプロセッサ	2		
	電子デバイス	2			信号処理	2		
	論理回路および演習	3			画像情報工学	2		
	回路理論 および演習	3			システムLSI工学	2		
	回路理論 および演習	3			通信工学	2		
	電子回路 および演習	3			通信システム工学	2		
	電子回路 および演習	3			電磁波工学	2		
	計測工学	2			高周波伝送工学	2		
	通信工学	2			オブジェクト指向プログラミング	2		
	光工学	2			計算工学基礎	2		
	光エレクトロニクス	2			電気電子機器	2		
	不規則信号論	2			光工学	2		
	画像情報工学	2			光エレクトロニクス	2		
	プログラミング および演習	3			電子物性工学	2		
	マイクロプロセッサ	2			電子デバイス	2		
	プログラミング	2			パワーエレクトロニクス	2		
	制御工学	2			エネルギーネットワーク工学	2		
	信号処理	2			高電圧工学	2		
	電磁波工学	2			電力工学	2		
	通信システム工学	2			電気法規および施設管理	2		
	高周波伝送工学	2			論文・文献講読	1		
	システムLSI工学	2			電気電子工学特別講義( )	2		
	電気電子機器	2			電気電子工学特別講義( )	2		
	高電圧工学	2			電気電子工学特別講義( )	2		
	電力工学	2			電気電子工学特別講義( )	2		
	パワーエレクトロニクス	2			電気電子工学特別講義( )	2		
	エネルギーネットワーク工学	2			電気電子工学特別講義( )	2		
	電気法規および施設管理	2			電気電子工学特別講義( )	2		
	電気電子製図	1			電気電子製図	1		
電子情報工学製図	1	電子情報工学製図	1					
電子メディア特別講義( )	2	電気電子工学実験I	2					
電子メディア特別講義( )	2	電気電子工学実験IIB	2					
電子メディア特別講義( )	2	電気電子工学実験IIIB	2					
電子メディア特別講義( )	2	卒業論文	8					
論文・文献講読	1							

備考 (1) 印の授業科目は、必修とする。  
(2) 印の授業科目は、選択必修とする。

国立大学法人東京農工大学工学部教育規則の一部改正(案)

専門科目		電気電子工学実験	2	
		電子メディア工学実験	2	
		電子メディア工学実験	2	
		卒業論文	8	
	開放科目	電磁波応用工学特論1	2	履修に際しては、指導教員と相談すること。
		半導体薄膜工学特論	2	
		光エレクトロニクス特論	2	
		パワーエレクトロニクス特論	2	
		通信工学特論1	2	
		画像認識工学特論	2	
		光電子機能デバイス工学特論	2	
		集積回路設計特論	2	
		パターン情報処理特論	2	
		情報入出力システム工学特論	2	
備考 (1) 印の授業科目は、必修とする。				
(2) 印の授業科目は、選択必修とする。				

国立大学法人東京農工大学工学部教育規則の一部改正(案)

現 行				改 正 案				備 考		
<b>情報工学科</b>				<b>情報工学科</b>				カリキュラム改正による区分名、科目名、 単位数および履修条件の変更		
区分	授業科目	単位数	備考	区分	授業科目	単位数	備考			
専門基礎科目	数学	線形代数学	2	必修科目14単位を含め、22単位以上を修得すること。	T A T 科目	数学	線形代数学	2	1	
		線形代数学	2				微分積分学 および演習	3		
		微分積分学 および演習	3			物理学	物理学基礎	2		
		微分積分学 および演習	3				物理学基礎演習	1		
		微分方程式	2			化学	化学基礎	2		
		関数論	2				T A T 科目	数学		線形代数学
		幾何学	2			微分積分学 および演習		3		
		代数学	2			数理統計学	2			
	代数学	2	物理学		電磁気学	2				
	数理統計学	2			地学	地学	2			
	数学基礎	0	地学実験			1				
	物理	物理学基礎	0		2	数学	数学基礎	1		1
		力学A	2				微分方程式	2		
		電磁気学	2				関数論	2		
化学	化学	2	幾何学	2						
	コンピュータ序論	2	代数学	2						
情報工学	プログラミング序論	2	情報工学	コンピュータ序論			2	必修科目6単位を含め6単位以上を修得すること。		
	科学技術表現法	2		プログラミング序論		2				
メディアコミュニケーション論	2	コンピュータ序論演習		1						
情報社会文化論	2	プログラミング序論演習		1						
専門教養科目	エピステモロジー	2	専門教養科目	情報化社会と職業		1				
				科学技術表現法		2				
				言語情報文化論		2				

備考(1) 印の授業科目は、必修とする。

備考(1) の科目は、必修とする。

(2) の科目は、選択必修とする。

- 必修科目10単位を含め、数学・物理学・化学から18単位以上修得すること。ただし 印から1科目以上修得すること。
- 自由選択単位として卒業に必要な単位として算入できる。

備考(2):追加

- 追加
- 追加

現 行				改 正 案				備 考					
<b>情報工学科</b>				<b>情報工学科</b>				カリキュラム改正による区分名、カリキュラム改正による区分名、科目名および履修条件の変更					
区分	授業科目	単位数	備考	区分	授業科目	単位数	備考						
専門科目	コア科目	プログラミング基礎	2	必修科目38単位を含め、38単位以上を修得すること。	コア科目	プログラミング基礎	2	必修科目33単位を修得すること。					
		アルゴリズム序論	2			電気・電子回路	2						
		計算機アーキテクチャ基礎	2			論理回路	2						
		情報システム入門	2			プログラミング基礎演習	1						
		情報数学	2			ハードウェア実験	1						
		情報理論	2			アルゴリズム序論	2						
		電気・電子回路	2			計算機アーキテクチャ基礎	2						
		論理回路	2			情報数学	2						
		コンピュータ序論演習	1			情報理論	2						
		プログラミング序論演習	1			アルゴリズム序論演習	1						
		プログラミング基礎演習	1			計算機アーキテクチャ演習	1						
		アルゴリズム序論演習	1			情報理論演習	1						
		計算機アーキテクチャ演習	1			情報数学演習	1						
		情報システム入門演習	1			情報工学実験A	2						
		情報数学演習	1			情報工学実験B	2						
		情報理論演習	1			論文・文献講読	1						
		ハードウェア実験	1			卒業論文	8						
		ソフトウェア工学	2										
	データベース	2											
	情報化社会と職業	1											
	情報職業倫理	1											
	情報工学特別講義	12											
	情報工学実験A	2											
	情報工学実験B	2											
	論文・文献講読	1											
	インターンシップ	2											
	卒業論文	8											
	コース科目	計算機システム	集積回路	2	28単位以上を修得すること。	専門科目	アドバンスド科目	オブジェクト指向プログラミング	2	32単位以上を修得すること。			
オペレーティングシステム			2	ソフトウェア工学				2					
システムソフトウェア			2	情報工学特別講義( )				2					
計算機ネットワーク			2	情報工学特別講義( )				2					
言語処理系			2	情報工学特別講義( )				2					
アルゴリズム論			2	情報工学特別講義( )				2					
数理知能		関数プログラミング	2	オブジェクト指向プログラミング			2	コース科目	コア科目		集積回路	2	
		オブジェクト指向プログラミング	2	人工知能			2				オペレーティングシステム	2	
		人工知能	2	人工知能			2				言語処理系	2	
		オペレーションズ・リサーチ	2	関数プログラミング			2				計算機ネットワーク	2	
		言語システム論	2	人工知能			2				データベース	2	
		コンピュータグラフィックス	2	オペレーションズ・リサーチ			2				アルゴリズム論	2	
情報メディア		ヒューマンインターフェース	2	言語システム論			2	関数プログラミング	2		数理知能	オペレーティングシステム	2
		信号処理論	2	コンピュータグラフィックス			2	人工知能	2			言語処理系	2
		計測・制御工学	2	ヒューマンインターフェース			2	オペレーションズ・リサーチ	2			計算機ネットワーク	2
		パターン認識	2	信号処理論			2	言語システム論	2			データベース	2
		画像工学	2	計測・制御工学			2	コンピュータグラフィックス	2			アルゴリズム論	2
		身体情報科学概論	2	パターン認識			2	ヒューマンインターフェース	2			関数プログラミング	2
視覚表現論	2	画像工学	2	信号処理論	2	人工知能	2						
開放科目													
備考(1) 印の授業科目は、必修とする。				備考(1) 印の授業科目は、必修とする。									
				備考(2) 情報工学特別講義については、開始前に課題名を定めて開講し、合計12単位まで修得できる。									



国立大学法人東京農工大学工学部教育規則の一部改正(案)

現 行				改 正 案				備 考
第2条 別表(4)				第2条 別表(4)				カリキュラム改正による科目構成の変更
<b>各学科共通専門科目</b>				<b>工学部共通専門科目</b>				
専 門 科 目	各 学 科 共 通 専 門 科 目	安全工学	2	自由選択単位として卒業に必要な単位として修得することができる。	共通科目	工学部特別講義 ( )	2	自由選択単位として卒業に必要な単位に算入できる。
		特許法	2			工学部特別講義 ( )	1	
		ベンチャービジネス論	2		工学概論	2	外国人留学生に限り履修可能。自由選択単位として卒業に必要な単位に算入できる。	
		知的所有権	2		工学概論	2		
		技術者倫理	2		国際科目	Japanese Science and Technology	2	2単位まで、自由選択単位として卒業に必要な単位に算入できる。
		科学技術コミュニケーション論	2			International Cooperation of Science and Technology	2	
		地学	2			Environmental Science and Technology	2	
		地学	2			General Topics of Japanese Industry	2	
		生物科学	2		工学部共通特別講義 ( )	2	外国人留学生に限り自由選択	
		応用分子生物学	2		工学部共通特別講義 ( )	2		
		工学部共通特別講義 ( )	2		工学部共通特別講義 ( )	2	外国人留学生に限り自由選択	
		工学部共通特別講義 ( )	2		工学部共通特別講義 ( )	2		
		工学部共通特別講義 ( )	2		工学部共通特別講義 ( )	2	外国人留学生に限り自由選択	
		工学部共通特別講義 ( )	2		工学部共通特別講義 ( )	2		
	工学概論	2	Fundamental Engineering and Technology (*)	2	自由選択単位として卒業に必要な2単位を修得することができる。			
	工 学 概 論 (*)	2	Japanese Science and Technology	2				
	国 際 科 目	Fundamental Engineering and Technology (*)	2	自由選択単位として卒業に必要な2単位を修得することができる。				
		Japanese Science and Technology	2					
		International Cooperation of Science and Technology	2					
		Environmental Science and Technology	2					
General Topics of Japanese Industry	2							

備考 (1) 工学部共通特別講義については、開始前に課題名を定め、2単位ごとに合計10単位まで開講する。

(2) 国際科目は科学技術短期プログラム(STEP)留学生用の科目(学生便覧参照)でもあるため、授業では英語で行われる。また、他の短プロ科目も2単位まで履修可能。

(\*) 外国人留学生対象【工学概論】と国際科目【Fundamental Engineering and Technology】は同一科目です。両方の科目を履修することはできません。

備考(1): 変更  
 (2): 変更  
 (3): 削除  
 (\*) 削除